

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成20年11月12日(水) 5校時
児 童 1年A組 男6名 女10名 計16名
指導者 青木 千登勢

1 単元名 くらべてよもう

2 教材名 「じどう車くらべ」(光村1年 上)

3 単元の指導目標

【関心・意欲・態度】・自動車の「しごと」と「つくり」について、興味を持って読み取っていきこうとする。

・乗り物の本などに興味を持ち、進んで情報を集めようとする。

【書くこと】 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書く。

【読むこと】 3種類の自動車について、「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読む。

【言語事項】 片仮名で書く語を読んだり書いたりする。

4 単元について

低学年の読むことの目標は(3)「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元では、内容「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」エ「語や文のまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと。」と深く関わっている。

本教材は、自動車という児童が興味・関心をもつ素材を扱った説明文である。文章構成は「話題・問い・答え」という形であり、その中で3種類の自動車の事例について「しごと」と「つくり」という二つの観点で述べられている。この二つの観点は「そのために」という言葉でつながれており、3つの事例はすべて「しごと・そのために・つくり」という同じ文型で述べられている。このことから、「しごと」と「つくり」という二つの観点を関連づけたり、3つの自動車を比べたりして、内容の大体を読み取る指導に適していると考えられる。

また、教材文の後には、はしご車についての問い、救急車についての説明の例が載せられている。学習した説明のしかたを用いて表現活動をすることで、簡単な組み立ての文章を書く力を育てられると考える。

5 児童の実態

児童が入学して初めて出会った説明文は、「いろいろなくちばし」である。説明文の基本的な文型である「問い」「答え」をさがしながら、説明されている内容の大体を読み取る学習をしてきた。そして、挿絵を使ったり、動作化したりして言葉に着目して読み取りを深めてきた。

児童は、平仮名・漢字を読んだり書いたりすることが楽しく、国語の学習に意欲的に取り組んでいる。また、読み聞かせを喜んで聞いたり、図書館に通って本を借りたり、家庭での音読に取り組んだりすることを好む児童が多い。その反面、平仮名を一字ずつ拾い読みする児童や、言葉のまとまりとして文章を読めない児童が数名みられる。

6 指導にあたって

「つかむ」の段階では、自分たちの力で「自動車図鑑」を作ることを予告することで、文章を読み取る活動に目的意識と必要感をもたせたい。また、「いろいろなくちばし」で学習した「問い」「答え」の構成を想起し、「じどう車くらべ」でも同様に「問い」「答え」の構成であることに気付かせたい。そして、「問い」の文から、「しごと」と「つくり」について関連づけて読み取っていくことを把握させる。

「たしかめる」段階では、文末表現に気をつけながら「しごと」「つくり」にサイドラインを引かせることで、自分の考えをしっかりと学び合いに参加させたい。さらに、文章の他に、挿絵や自分の経験、動作化からイメージを膨らませることにより、「しごと」「つくり」を関連付けて読み取らせていく。また、「しごと」と「つくり」をつないでいる「そのために」に気付かせ、読みの手がかりにしていきたい。

「ひろげる」の段階では、図書館の本や自分の本から好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」を説明する文章が書けるようにしていく。これまでの学習をもとに人に聞いたり、資料を読んだりして集めた情報を書き写したり書き換えたりして表現を工夫させたい。

7 指導計画と評価規準

段階	時間	学習内容	評価規準
			【】 評価の観点 () 評価方法
つかむ	1	・全文を読み、初発の感想をもつ。 ・新出漢字や片仮名の読み方について確認し、音読する。	【関】自動車について、興味を持ちながら発表したり、感想を書いたりしている。 (発言・ワークシート)
	2	・形式段落に番号をつける。 ・「問い」の文を見つけ、学習の見通しをもつ。	【読】文末表現を手がかりにしながら問いの文を見つけている。 (サイドライン・発言)
たしかめる	3	・バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」を読み取る。	【読】バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を理解し、それを関連付けながら、内容の大体を読み取っている。 (サイドライン・発言、動作化)
	4	・トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。	【読】トラックの「しごと」と「つくり」を理解し、それを関連付けながら、内容の大体を読み取っている。 (サイドライン・発言、動作化)
	5	・クレーン車の「しごと」と「つくり」を本読み取る。	【読】クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解し、それを関連付けながら、内容の大体を読み取っている。 (サイドライン・発言、動作化)
ひろげる	6	・はしご車の「しごと」と「つくり」を調べまとめる。 ・自分の好きな自動車を選ぶ。	【読】はしご車の「しごと」と「つくり」を調べるために、資料から読み取っている。(ワークシート) 【関】本から好きな自動車を見つけている。(行動)
	7	・自分の好きな自動車について図鑑を作る。	【書】自分の選んだ自動車について、「しごと」と「つくり」を関連付けて説明文を書いている。 (ワークシート)
	8	・できあがった図鑑を交換して読み合い、感想を交流する。	【関】友だちの書いた図鑑を読み合い、その良さに気付いている。 (発言)

8 本時の指導（5／8）

（1）目標

【読むこと】トラックの「しごと」と「つくり」を理解し、それを関連付けながら読み取ることができる。

（2）本時の具体の評価規準

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する児童への手立て
トラックの「しごと」と「つくり」を関連付けて、その必要性や利便性を考えながら説明している。	トラックの「しごと」と「つくり」を理解し、それを関連付けながら、発表したり、動作化したりしている。	挿絵と教材文を照応させながら、トラックの「しごと」を見つけさせる。「そのために」や文末表現を手がかりに「つくり」に気付かせる。

（3）本時における書く活動の位置づけ

- ・「しごと」と「つくり」の文がどこに書いてあるのか、自分の考えを持つためにサイドラインを引く。
- ・叙述内容をより正確に理解するために、「しごと」と「つくり」について、大切な言葉を書き抜く。

（4）展開

段階	学習活動	指導上の留意点（☆ 評価）
つかむ 5分	1 既習事項を想起する。 2 本時の課題を把握する。 クレーン車のしごととつくりをよみとろう。	・ 掲示物を使い、2種類の自動車の「しごと」と「つくり」について学習してきたことを想起させる。 ・ 本時も「しごと」と「つくり」という観点で読み取っていくことを確認する。
深める 25分	3 見通しをもつ。 （1）見通しをもつ。 ○「しごと」と「つくり」をさがす手がかりを確認しましょう。 （2）学習範囲を音読する。 4 課題解決をする。 （1）クレーン車の「しごと」について読み取る。 ・ サイドラインを引く。 ・ 引いたところを確認し、視写する。 （2）クレーン車の「つくり」について読み取る。 ・ サイドラインを引く。 ・ 引いたところを確認し、書き抜く。	・ 前時までの学習を振り返り、「しごと」という言葉と文末表現に着目することが手がかりになることを確認する。 ・ 手がかりとなる言葉に気をつけて音読させる。 ☆「しごと」という言葉を手がかりにして「しごと」が書かれている文にサイドラインを引いているか。（サイドライン） ・ 「おもいもの」「つりあげる」を取り上げ、経験や挿絵をもとに話したり、動作化をしたりしてから視写させる。 ☆文末表現を手がかりにして「つくり」が書かれている文にサイドラインを引いているか。（サイドライン） ・ 「じょうぶなうで」「車たい」「しっかりしたあし」「のびた

	<p>(3)「しごと」と「つくり」の関連性を考える。</p> <p>○どうして、このようなつくりになっているのでしょうか。</p> <p>5 課題のまとめをする。</p> <p>(1)クレーン車の「しごと」と「つくり」についてクイズを出し合う。</p> <p>(2)黒板で学習したことを振り返り、学習場面を音読する。</p>	<p>りうごいたり」「かたむかない」について挿絵と対応させたり動作化したりして理解させてから視写させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の自動車とくらべたり、動作化をしたりして「つくり」の必要性や利便性に気づかせる。 <p>☆クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解し、それを関連づけながら発表したり動作化したりしているか。</p> <p>(動作化、発言)</p> <p>☆学び合ったことをもとにクレーン車の「しごと」と「つくり」を説明しているか。</p> <p>(発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の学習場面を音読してまとめとする。
<p>まとめ る 15 分</p>	<p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、自己評価をする。 <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲面、技能面、内容面について記号を書かせて自己評価させる。 ・はしご車の「しごと」と「つくり」について説明する文章を書くことを知らせる。

(5) 板書計画

